

FRONTIER

予測できない未来を切り拓くためには、「既存の方法にとらわれず」、自ら適した方法をその都度選択して学び続けることが必要です。ちばっ子の学びに「ICT」という新しい選択肢を増やしましょう。



実践事例のご紹介～柏市立西原中学校～

- * 全校生徒523名、使用OS…Google Chrome OS
- * 実践事例については、評価の3観点と授業改善の3つの視点によってタグを設定しています。ICTを利用することが目的化することなく、児童生徒の資質・能力の向上に向けてICTを活用するという視点で実践事例をご覧ください。

評価の3観点

授業改善の3つの視点

～中学校社会科～

Step 1

端末を活用した授業実践！

社会科の授業では、3年生が公民的分野で「現代の民主政治」について学ぶ授業において、1人1台端末を有効に活用していました。

本授業では、以下のような場面で活用していました。

①模擬投票をGoogleフォームで実施

* 模擬投票は、開票作業や集計作業の手間がかかってなかなか実施できませんでしたが、Googleフォームを活用することで速やかにできるようになります。

* 模擬投票にあたって、資料を読み込むなど、投票に向けての取組が自分と学習内容を結び付けることにつながり、主体的な学習へとつながっていきます。 (主体的な学び)

* 集計が瞬時に行われ、グラフ化も行ってくれるので、プロジェクトなどで掲示することで、興味・関心を高めることができます。 (主体的な学び)

②自分たちの気づきや意見を「Jamboard」で出し合うことで意見の共有から学びが深まる

* 意見を共有するだけでなく、共同編集を進めていく中で、互いの考えを比較していくことができます。 (対話的な学び)

* 他の人の考えや意見をよく聞いて、より良い考えや解決策などを作り出したり発見したりすることができ、粘り強い取組として評価することができます。 (主体的な学び) (深い学び)

<主体的に学習に取り組む態度> <思考・判断・表現>

動かしたりマーカーを用いてグルーピングしたり、活用方法は無限大です！深い学びの実現へいろいろな方法を試したいですね！

思考やコミュニケーションの状況などが可視化でき、残ったデータは評価に用いることができますね！

意見の種類や発表者によって、付箋の色を使い分けると活用方法が増えそうですね！



主体的な学び



主体的に学習に取り組む態度

思考・判断・表現

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

Step 2

学習支援ソフトを有効活用

～中学校数学科～

数学科の授業では、1年生が「反比例」について学ぶ授業において、学習支援ソフトを有効に活用していました。

①「GRAPES-light」を用いて反比例のグラフ作成

端末をタッチしてグラフを作れる！

ひとりひとりが活動に取り組む

B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

主体的な学び

深い学び

思考・判断・表現

*「GRAPES-light」を活用することで実際に自分がグラフを作成すると、その作業を通して興味や関心を高めることができます。(主体的な学び)

*本授業では、「反比例のグラフの特徴を考えようという学習課題」を設定しているため、生徒自身がいろいろな条件を考えながらグラフをたくさん作成することで、その共通点に気づき、知識や技能の概念化につなげていくことができます。(深い学び)

*実際にグラフを作成することも重要ですが、このように学習支援ソフトを活用することでグラフ作成に時間を割くのではなく、思考を深めるために時間を使うことができるのも、ICT活用のメリットです。<思考・判断・表現>

Step 3

登校できない生徒のために・・・

カメラとマイクを設置してオンラインで授業を配信中！

様々な事情で登校できない生徒のために授業のオンライン配信をほとんどの授業で行っています。

登校することができなくても、学びを保障することで生徒とつながろうとする取組が学校全体で進められています。

今年度は授業でどんどん使ってみることが重要です！
さまざまな活用の事例を確認しながら、取り入れられるところからやってみましょう。

そして、来年度(令和4年度)はより学力向上のための活用が求められていきます。積極的な1人1台端末などのICT機器の学力向上に向けた有効な活用をお願いします。

C4 学校の壁を超えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

合言葉は「 I (今までの学びに) C (ちょっとずつ) T (取り入れる)」